

事業概要【晴れの国おかやまで農業をやってみませんかプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	岡山県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	231,462千円 (44,756千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・県立青少年農林文化センター三徳園を拠点とした新規就農者の育成 ・果樹農業の振興 ・有機農産物等の環境にやさしい農業で作られた農産物の生産振興、販売促進 		
事業概要・ 主な経費	<p>○三徳園研修体系確立事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三徳園運営、交流会、オンライン研修会等開催等 (委託料) 27,278千円 ・研修ほ場の管理に必要な機械施設整備(備品購入費) 2,978千円 <p>○環境にやさしい農業で作られた農産物の供給力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者機関認証、各種PR、研修会開催等(委託料等) 12,388千円 ・販路拡大の支援(補助金) 168千円 ・生産条件整備等の支援(補助金) 1738千円 ・受入体制の整備(補助金) 206千円 		
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①新規就農者数(年間) (+18人) ②事業を通じたオンライン研修の受講者数 (+35人) ③果樹の農業産出額(+26億円) ④各市町村における環境にやさしい農業の推進体制の構築 (+11市町村) 		<p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://ninaiteokayama.or.jp/santokuen/ (効果検証)</p> <p>https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【ものづくり企業のグリーン成長支援プロジェクト

～2050年カーボンニュートラルに向けた新たな地域産業づくり～

旧制度（推進）

申請者	岡山県	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	408,315千円（75,867千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン成長分野への県内ものづくり企業の参入を後押しすることで、県内産業の成長促進を図る。 ・カーボンニュートラルに向けた変革の流れを県内企業のビジネスチャンスにつなげる。 ・デジタル技術の利活用やIT活用人材の育成等による県内中小企業の生産性向上を図る。 			
事業概要・ 主な経費	<p>○最新技術動向・ニーズの把握支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン成長分野に係るセミナー等の開催（委託料等）4,094千円 <p>○技術連携への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専属コーディネーターによる産学連携の推進（委託料等）39,190千円 <p>○グリーン成長分野における研究開発支援（補助金等）17,400千円</p> <p>○技術力向上に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン成長分野に対応できる精密加工技術の向上や新技術を活用した効率的に事業化できる人材の育成に係る研修等の開催（委託料）5,028千円 <p>○デジタル技術の活用による成長支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先端技術の活用促進及びDXの推進（委託料等）7,755千円 <p>○デジタル技術の活用による成長支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IoT化に係る機器の導入支援（補助金）2,400千円 			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①グリーン成長分野に係る新規立地企業等の投資額（+284億円） ②グリーン成長分野に係る産学官連携等に向けたマッチング支援件数（+25件） ③従業員100人以上の製造業事業所数（+10事業所） ④グリーン成長分野における研究開発への支援件数（+23件） 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html</p>	
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値				

事業概要【地域を支える中小企業の維持・継続事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	226,342千円 (37,108千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・デジタル技術の導入やそれを活用できる人材の育成等、中小企業が抱える課題の解決に特化した支援を実施することで、中小企業の基盤強化を図る。</p> <p>・BCPの作成など災害に対する備えや、若年者の県内雇用についても多角的に取り組むことで、中小企業の体力を底上げし、地域経済の持続的な発展につなげていく。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○サプライチェーン確保や事業展開を事前検討するBCPの策定支援</p> <p>・普及セミナー・訓練セミナー等（委託料）4,305千円</p> <p>○事業承継の不安を解消し、経営改善等の企業価値を向上させる</p> <p>・フォーラム・研修等（委託料）10,014千円</p> <p>○産業人財の育成と確保</p> <p>・研修の実施（委託料）19,200千円</p> <p>・県内企業の若手社員による「おかやま就活サポーター」を活用した県内就職の魅力や業界情報などの発信（委託料）3,589千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①BCP策定率（製造業）（+15%）</p> <p>②後継者不在率（▲3.5%）</p> <p>③人材育成研修受講者数（+355人）</p> <p>④本県出身の県外大学新卒者のUターン就職率（+2%）</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://www.optic.or.jp/okayama-ssn/event_detail/index/2797.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html</p>



事業概要【観光DXを活用した持続可能な観光地づくり推進計画】

旧制度（推進）

申請者	岡山県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	194,048千円 (82,194千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・観光DXを活用した市場分析や顧客データのオープンデータ化を図る。 ・高付加価値なコンテンツ開発や磨き上げ、観光満足度の高いおもてなしによる潜在的な顧客の獲得を図る。 ・海外を含めた最適なターゲットに向けた効果的なプロモーションによる国内外からの誘客促進を図る。 		
事業概要・ 主な経費	<p>○観光DX基盤整備とデジタルマーケティングによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光WEBサイトリニューアル事業（委託料）20,000千円 ・ターゲット別の情報発信（負担金）8,816千円 ・インバウンド向けプロモーション（委託料）12,000千円 <p>○付加価値の高いコンテンツ整備等による誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ開発・販売経費（負担金）7,718千円、（委託料）7,128千円 ・旅行会社への商品売込み（役務費）123千円、（使用料及び賃借料）4,449千円 ・教育旅行向け定番商品の開発・販売（負担金）5,840千円 ・インバウンド向けのコンテンツの充実（委託料）9,060千円 ・観光DXモデル化事業の実施経費（負担金）7,060千円 <p>※負担金はすべて県観光連盟へ拠出</p>		
※経費内訳はR7年度事業費	<h3>観光DXによる好循環の加速化</h3>		
KPI	<p>①観光消費額（+671億円）</p> <p>②県内宿泊者数（+284.47万人）</p> <p>③造成コンテンツ数（+69件）</p> <p>④観光DXに取り組む市町村数（+20市町村）</p>		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>https://www.pref.okayama.jp/page/888521.html</p> <p>（効果検証）</p> <p>https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html</p>	

事業概要【きらり輝く！おokayama多様な人材活躍支援プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	岡山県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	213,157千円（44,447千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・県内中小企業におけるタイプ3 インターンシップ対応への支援 ・県内企業の認知度向上と学生の業界研究を通じた就職支援 ・留学生に対する県内企業の認知度向上と外国人材の適切な受入れと活躍の支援 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○タイプ3 インターンシップによる県内企業マッチング支援 (委託料等) 31,089千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プッシュ型インターンシップ情報の提供 ・タイプ3 インターンシップ創出に向けたセミナーの開催 ・インターンシップ等マッチング支援イベントの開催 <p>○オンライン型企业見学ツアーの開催 (委託料) 6,360千円</p> <p>○外国人材県内活躍総合支援 (委託料等) 6,998千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業向けセミナーの開催 ・留学生向けの企業研究イベント等の開催 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ① 関東圏の大学からの県内出身者 Uターン就職率 (+2.4%) ② 近畿圏の大学からの県内出身者 Uターン就職率 (+2.4%) ③ 県が関与したタイプ3 インターンシップ導入企業数 (+120社) ④ 県内大学留学生の県内就職率 (+2.4%) 		<p>関連 URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html (効果検証) https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html</p>

事業概要【デジタル化による企業の「新たな価値づくり」支援事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県	初回採択回	令和5年度第1回
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	261,278千円（100,452千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・デジタル化に向けた県内企業のさらなる意識の醸成や、取組の着実な推進により、県内企業の競争力強化、生産性の向上を図ることで、本県経済の維持・発展を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>①プッシュ型デジタル化支援体制構築事業 業種ごとに最適と思われる業種別モデルの作成や、そのモデルを普及・啓発するなど、デジタル化に向けた行動がわからない企業に対し、プッシュ型の支援を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術導入支援（補助金）75,612千円 ・DX推進人材育成（委託料）13,670千円 <p>②デジタル活用スキルアップ支援事業 加工食品等の事業者に向けて、デジタル活用のスキルアップを図るとともに、リアル・オンライン双方による展示会、商談会への出展、商品プロモーションを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産日本酒プロモーション（委託費）8,516千円 ・県産日本酒プロモーション（使用料等）2,654千円 		 
KPI	<p>①プッシュ型支援企業のうちデジタル技術を導入した事業者の数（+2,600者）</p> <p>②岡山県の従業員1人当たり売上高（+3,742千円）</p> <p>③デジタル活用スキルアップセミナー参加事業者数（+60者）</p>		<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>https://www.pref.okayama.jp/site/presssystem/689486.html</p> <p>（効果検証）</p> <p>https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html</p>
※経費内訳はR7年度事業費			
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【デジタルイノベーション創出支援事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	285,210千円 (95,016千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野

目的・効果

- ・産学によるデジタルイノベーション創出により、県内ものづくり企業の生産性や魅力向上、若者の県内定着・還流を進める。
- ・デジタルイノベーションの創出と社会実装に必要な実践的な人材育成を図り、企業のDX化を促進する。

事業概要・ 主な経費

※経費内訳はR7年度事業費

○デジタルイノベーション創出の場の形成

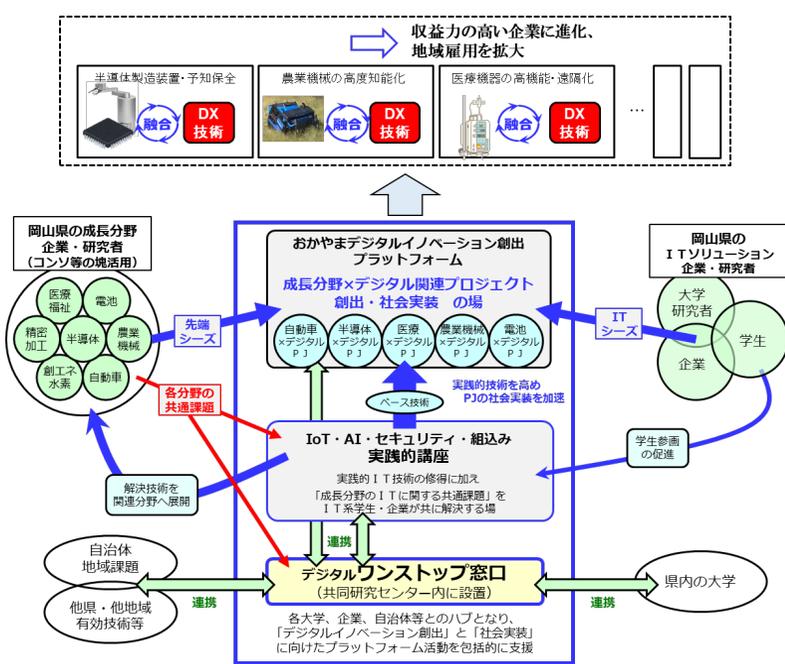
- ・成長分野企業、研究者及び学生が、先端デジタル技術の活用を軸に、組織・分野の枠を超えて共創するプラットフォームを設置し、「成長分野技術×デジタル技術」の融合プロジェクトを創出する。
(負担金) 30,000千円 (コーディネーター人件費) 6,364千円

○実践的講座

- ・先端デジタル技術を活用し課題解決を図るプロセスを軸とした実践的講座の実施
- ・事業化に向けたプロジェクトを推進するためのリーダー人材の育成等
(委託費) 22,003千円

○ワンストップ窓口の設置

- ・自治体・企業・大学をはじめとする各産学官連携機関を繋ぐハブとなり、各機関からの相談対応やDX課題の収集と、共通化するための課題集約、共通課題解決策の横展開を推進する等、プラットフォームの活動の包括支援を行う。(委託費) 35,455千円 (消耗品費等) 1,194千円



- KPI**
- ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値
- ①地域における新規雇用者数 (+3,718人)
 - ②県内大学新卒者の県内就職率 (+2.7%)
 - ③デジタルイノベーション創出の場で実施したプロジェクト数 (+110件)
 - ④デジタルイノベーション創出に向けた本事業の諸活動に参加する学生数 (+10,000人)

関連URL

(交付金の具体的使途・実施体制)

https://www.pref.okayama.jp/soshiki/43/#ka_headline_1

(効果検証)

<https://www.pref.okayama.jp/page/599469.html>

事業概要【人口減少社会を突破！ Well-being実現を目指す移住・定住促進プロジェクト】

申請者	岡山県					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	139,370千円 (50,119千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者と地域双方のWell-beingを実現することにより、「晴れの国ぐらし」のブランドを確立する。 ・移住者が移住者を呼び込む好循環を創出し、社会減・自然減対策の一体的な加速化を目指す。 ・多様な「移住のカタチ」を促進することにより、継続的かつ複層的なネットワーク形成による担い手確保のスキームを構築する。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○女性先輩移住者によるブース出展やワークショップなどを行うフェスの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催、タイアップ記事掲載（委託料）3,553千円 <p>○若者（ファミリー層）や女性の移住を促進するため、移住イベントのブランディングと一体的なプロモーションを展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション実施経費（委託料）7,527千円 <p>○関西に進学した女子学生のUターン促進のための交流会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催経費（委託料）7,513千円 <p>○空き家を活用した子育て世帯向けのお試し住宅の整備等、市町村が実施する移住・定住促進の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・晴れの国ぐらし子育て応援パッケージ（補助金）3,313千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>県内市町村や経済団体など、県内の交流・定住促進に関係する41団体で構成する「岡山県交流・定住促進協働会議」と連携しつつ、イベントの開催や移住に関する相談対応等を行う。また、移住者をイベントゲストとして招聘し、体験談等を伝えてもらう。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数（お試し住宅利用後に移住した者）（+48人） ②移住相談（関係人口を含む）件数（+241件） ③移住ポータルサイト来訪者数（若年女性）（+1,013人） ④移住支援制度の利用件数（+4,000人）

事業概要【世界に羽ばたけ！グローバルおかやまフードプロジェクト事業】

申請者	岡山県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	572,934千円 (175,944千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> デジタルマーケティングを活用しながら海外等でも評価される付加価値の高い商品作り、販売戦略を実行できる農業者、6次化事業者を育成し、所得向上と雇用の創出等により地域農業を活性化する。 海外はもとより、輸出等への拠点となる大都市圏において、積極的な情報発信やプロモーションを展開し、海外メディアやインバウンド等への情報拡散により他地域との差別化を図り、国内外に通じる岡山ブランドの確立を図る。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○農業者・6次産業事業者のマーケティングスキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 産地のマーケティング戦略の策定・実行の支援（委託料等）6,119千円 6次産業化事業者のECサイトの活用に向けた支援（委託料）11,396千円 <p>○デジタルを活用した国内・インバウンド向け対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸出拡大に向けた岡山県農林水産物や県産品のP R（委託料等）58,462千円 民間主体の輸出拡大に向けたP R支援（補助金）6,698千円 <p>○海外等への販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡山県産品のブラッシュアップ等への支援（委託料等）37,510千円 セミナーの開催や海外向け見本市等への出展支援（委託料）21,450千円 海外メディアの誘致や多言語によるSNS発信（委託料等）34,309千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>県内企業の海外への販路拡大にあたり、ジェトロ岡山等へ委託し、セミナー等による情報提供、専門家派遣によるマーケティング支援、海外バイヤー向け商談会等を行う。</p> <p>農業団体等と県で構成する協会が、構成団体から県産農林水産物の輸出拡大に向けた要望を受け、その取組を支援する。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①県産農林水産物の輸出金額（+1.23億円） ②県内のデジタル技術を活用する6次産業化事業者の割合（+9%） ③あっせん・サポート等による取引成立件数（+42件）

事業概要【中小企業等持続的成長促進プロジェクト】

申請者	岡山県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	267,372千円 (84,198千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 生産年齢人口が減少していく中で、少ない人的資源を自社の雇用につなげて定着させる取組を進めるとともに、DX化の推進により業務の効率化・省力化を進めることで県内企業の人材不足への対応力強化を図る。 ものづくり企業をメインターゲットとして、各企業の課題に対応できるよう、製品開発からデザイン力向上、知的財産権の活用促進、マーケティング力強化などの一連の取組を進めることで企業の競争力強化を図る。 これらの取組を進めることで、県内企業の持続的な成長を促進し、地域経済の活性化を図る。 						
事業概要・ 主な経費	<p>○人材不足への対応力強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴走支援及びセミナーの開催等（報償費等）9,310千円 ・IT利活用相談窓口の設置等（委託料）6,596千円 <p>○ビジネス環境の変化及び価値観・ニーズの多様化に向けた競争力強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発能力・技術向上セミナーの開催等（報償費等）1,452千円 ・デザイン力向上セミナーの開催等（報償費等）5,467千円 ・知的財産権の活用力向上に向けた研修会の開催（委託料）3,521千円 ・マーケティング力強化に向けた伴走支援等（委託料）29,672千円 ・新分野への参入促進に向けたセミナーや展示商談会への出展支援等（委託料）12,631千円 ・課題解決能力向上に向けた伴走支援等（委託料）15,549千円 					<p>岡山県 中小企業等成長ロードマップ</p> <p>企業の持続的な成長 地域経済の活性化</p> <p>人材確保・人材定着 DX化等 生産性向上 競争力強化</p> <p>人手不足 国内市場の縮小</p> <p>ビジネス環境の変化 価値観・ニーズの多様化</p>	
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>支援対象者である地元民間企業及び、当該企業に対して日頃からより身近で支援を行う商工会・商工会議所等へ、地域や産業界の実情を踏まえた率直な意見・要望を求める。また、工業技術等に関する専門的な支援については、大学関係者へ技術的な視点での助言を求める。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①一人平均月間現金給与額 (+24,677円) ②製造業の従業者一人当たりの付加価値額 (+660,000円) ③地域における新規雇用者数 (+3,718人)
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【岡山市版スタートアップ・エコシステム形成によるスタートアップ創出事業】 旧制度（推進）

申請者	岡山県岡山市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	356,320千円 (54,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	スタートアップの成長に繋げるため、アクセラレータープログラムやアントレプレナーシップ教育の実施や当市が社会課題解決のための実証フィールドを提供を行うとともに、ももスタを中心とした「岡山市版スタートアップ・エコシステム」を形成し、スタートアップに関する様々なステークホルダーが自発的に関わることが出来るコミュニティ形成に向けた支援を行う。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○スタートアップ支援拠点運営事業（負担金 15,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ支援拠点「ももスタ」の運営 <p>○スタートアップ支援事業66,600千円（うち一般財源27,200千円） （委託料 65,100千円 負担金 1,500千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業家の掘り起こし・裾野拡大イベントの実施 ・起業家の創出・事業成長のための連続プログラムの実施 ・次世代起業家育成のための連続プログラムの実施 ・X-Techビジネス創出促進のための連続プログラムの実施 ・資金調達基盤整備による資金調達手段の拡充支援 ・先進技術社会実証フィールドの提供 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①市の創業支援による創業者数（+30人）</p> <p>②ももスタで開催されるイベントへの参加者数（+2,300人）</p> <p>③ベンチャーキャピタル等から投資が行われたスタートアップ起業数（+15社）</p> <p>④市の創業支援により創出された新規事業数（+20件）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.okayama.jp/shisei/0000055954.html</p>

事業概要【デジタル技術を活用した健康習慣の定着化事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県岡山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	264,938千円 (50,967千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>高齢化、生産年齢人口の減少が進む状況にあっても、「子どもからお年寄りまで、病気や障害などの有無に関わらず生きがいを持ち活躍できる社会」の実現に向け、行政だけでなく民間事業者など、様々な関係者と連携する。</p> <p>これにより、住み慣れた地域における日常生活の中で「健康」につながるサービスを無意識のうちに利用でき無理なく続けられる環境である「自然と健康になれるまち」の実現を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○ポイント事業の推進主体（事務局）の維持 委託料 11,327千円、消耗品費51千円 ○デジタル技術の活用 委託料 7,700千円 ・アプリのアップデート、マイナポータルAPI連携の実装等 ○参加者募集のプロモーション 委託料 2,200千円 ・ポイント付与、協賛品提供等で参画する事業者の募集 ○自走化のための生活習慣改善メニューの検討、開発 委託料 29,689千円 ・民間事業者や庁内の政策と連携して、新たなサービスを創出 (例：本市の歩きたくなるまちづくり事業で整備した通り沿いの飲食店を巡るウォークラリーの実施) ・参画事業者への事業実施状況のフィードバック 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①医療費抑制効果額 (+ 412,500千円) ②健康習慣の定着率 (+ 13%) ③サービスを提供する店舗等の数 (+ 270箇所) ④アプリ相談会の総参加者数 (+ 720人) 		関連URL https://www.city.okayama.jp/ku-rashi/0000051897.html



事業概要【岡山市版イノベーション創出拠点形成事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県岡山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	60,000千円（20,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>地域経済の生産性向上にはイノベーションの創出が重要となる。そのため様々な属性のプレイヤーからイノベーションが連続して生まれる環境をつくることにより、①新たな価値を伴った事業の創出による新市場の開拓や外貨の獲得、地域のデジタル化への寄与、②イノベーションが創出される街というブランディングに伴う感度の高い若年層の定住率の向上、労働人口の増加等を図り、地域社会の活性化、人口増加等の好循環を生み出す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>○様々な属性のプレイヤーが集まる拠点を形成し、支援策を集中させ、プレイヤーが集まる環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点運営経費（委託料）：12,000千円 <p>○イノベーション創出に必要な基礎的なノウハウやデジタル先進技術を習得する機会を提供しイノベーション創出に取り組む人材を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会運営経費（委託料）：8,000千円 <p>○イノベーション創出の可能性が高いアトツギについては並行して独自の支援プログラムを実施し、集中的に成長を支援</p>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①市が関わる支援事業による創業者数（+15人） ②イノベーション創出拠点年間のべ利用者数（+1,500人） ③イノベーション創出拠点で開催されるイベント・プログラム年間のべ参加者数（+300人） ④中小企業庁主催「アトツギ甲子園」エントリー数（+6人） 	<p>関連URL</p>	<p>https://www.city.okayama.jp/shisei/0000055954.html</p>

事業概要【XRを活用した岡山城魅力アップ事業】

申請者	岡山県岡山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	64,000千円 (27,000千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	江戸時代最盛期の岡山城をCGデータで再現し、VR動画、周遊型コンテンツ、戦国期からの変遷を示すパネル等 を制作し、海外も含めた情報発信を行うことにより、観光客数及び観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CGデータによる復元と継承 多くの櫓や建物が集積した江戸時代の岡山城の威容及び城下町を、史料等調査や実測の上、高精度の3DCGで復元する。 ● VR動画の制作・放映 CGデータを基に、岡山城の概観、各建物の詳細、城下町の様子などを伝える10分程度の動画を制作し、岡山城天守内の大画面で放映する。また、短尺のPR動画を制作し、情報発信に活用する。 ● AR技術等を活用した周遊型コンテンツの制作・運用 AR技術等で、現存しないかつての建物の内部をデバイス上に表示させ、現状の景観と比較しながら本丸内を周遊できるコンテンツを制作し運用する。 <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 史料調査、測量調査、3DCGデータ制作（委託料）14,000千円 ● VR映像の制作、多言語翻訳（委託料）13,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	岡山城・石垣等の研究者である歴史学者による建築物考証、時代考証などの監修、史料提供を受けて、CG・VRを制作。完成後は、地元新聞社等と協働し、県内外への情報発信に努めるほか、岡山城の指定管理者らと連携し、国内外への情報発信や効果検証を行う。					<p>KPI</p> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①岡山市内の観光消費額（+247億円） ②岡山城天守入場者数（+33,888人） ③インバウンドの岡山城天守入場者数（+4,349人）

事業概要【「新たな倭国論」情報発信事業】

申請者	岡山県岡山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	38,700千円 (20,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・5世紀初頭、造山古墳に象徴される強大な勢力を誇った古代吉備が、大和と協力して倭国を統治していたとする「新たな倭国論」の認知度向上及び造山古墳を含む吉備路エリアの魅力向上のため、デジタル技術を活用した体験型コンテンツの制作等を行い、観光客数や観光消費額の増加を図るとともに、地域の活性化につなげる。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 デジタル技術を活用し、往時の様子を再現するコンテンツを制作し、訪問者のコンテンツ体験を通じて、造山古墳を含む古代吉備に関する史跡の歴史的価値や文化的背景に触れる機会を提供する。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○映像制作事業 ・VR技術を活用した映像制作（委託料）20,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>観光誘客施策に精通する観光コンベンション協会から知見・見識を得ながら、関係自治体や団体、報道各社等により構成される協議体と連携し、県内外に事業の情報発信を行う。 地域の観光ボランティアガイド団体と協力体制を構築し、制作したVR動画等の活用促進につなげる。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①岡山市観光消費額 (+247億円) ②造山古墳ビジターセンター来館者数 (+8,772人) ③観光地域別観光客数 (岡山市・吉備路) (+150千人)</p>

事業概要【鎮護国家の甕を生んだ「万富東大寺瓦窯跡」情報発信事業】

申請者	岡山県岡山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	36,100千円 (21,700千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・鎌倉時代、東大寺再建という国家プロジェクトにおいて重要な役割を担った万富東大寺瓦窯跡の歴史的価値や文化的背景及び瓦窯跡を含む瀬戸・上道エリアの魅力向上のため、デジタル技術を活用した体験型コンテンツの制作等を行い、観光客数や観光消費額の増加を図るとともに、地域の活性化につなげる。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 デジタル技術を活用し、往時の様子を再現するコンテンツを制作し、訪問者のコンテンツ体験等を通じて、史跡万富東大寺瓦窯跡の歴史的価値や文化的背景に触れる機会を提供する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デジタルコンテンツ制作事業 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用したAR/VR制作（委託料）19,700千円 ○魅力発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・東大寺サミットイベント開催（委託料）2,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>観光誘客施策に精通する観光コンベンション協会から知見・見識を得ながら、東大寺関連イベントの実施等を通じて、事業の情報発信を行う。地域の観光ボランティアガイド団体と協力体制を構築し、制作したデジタルコンテンツの活用促進につなげる。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①岡山市観光消費額 (+247億円) ②観光地域別観光客数（瀬戸・上道） (+8,000人) ③現地ガイド活動延べ活動回数 (+4回)

事業概要【地域産業の高付加価値化と

society5.0の推進による持続可能な地域の実現】

旧制度（推進）

申請者	岡山県津山市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	491,600千円（100,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	津山圏域における産業支援の拠点である「つやま産業支援センター」では、地域中小企業の潜在能力を発揮させるイノベーション創出、ICT利用の促進、事業継続力の強化により自立性を高め、地域の人口流入を促進します。就労者不足の改善、地域企業の経営力と知名度の向上、後継者問題の解消、専門人材の確保、UIターン促進、下請け型企業の自立支援など包括的に支援をしています。		
事業概要・ 主な経費	<p>企業の経営力強化 革新製品付加価値製品開発及びブランド化支援 9,630千円 自動化・省力化促進事業 17,500千円 創業・新事業の創出 創業者育成、創業ネットワーク形成事業 4,000千円 津山版Society5.0実現支援事業 3,000千円 人材育成 中核人材育成・採用サポート事業 2,800千円 まちなかカレッジ運営事業 13,133千円 地域産業の強化・BCP構築 個別企業支援の体制整備事業 5,500千円 サプライチェーン・バリューチェーンの構築支援事業 1,500千円 など</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>		 <p>つやまエリアオープンファクトリー</p>
KPI	<p>① 1世帯当り総所得金額（+85千円） ②サポートによるファクトリーブランド及び自社製品保有企業数（+15社） ③オープンファクトリー参加者数（+250人） ④市内ICT企業の新規雇用者数（+25人）</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	令和7年度公表予定

事業概要【城下町の特徴を活かした生涯活躍のまちづくり事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県津山市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	497,900千円 (87,086千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	人口減少と少子高齢化に対応し、「住み続けたい」と感じる街を創造するために、市内中心部の賑わい創出と多様な人材の交流を促進する政策を連携します。津山まちじゅう博物館構想を軸に歴史文化施設の有効活用を図り、地域づくりをリードする人材を育成することで、津山市の個性を活かした持続可能なまちづくりを行います。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>1. 多様な人の交流拠点づくり</p> <p>★津山まちじゅう博物館推進コンソーシアム運営事業 12,000千円 (補助金)</p> <p>★郷土博物館資料公開活用交流事業 2,700千円 (謝金・需用費・印刷製本費・広告料等)</p> <p>2. 賑わいの創出と人材が活躍できる地域の創造</p> <p>★まちづくりプラットフォーム事業補助金 14,000千円 (補助金、負担金、委託料)</p> <p>★中心市街地活性化戦略補助金 4,595千円 (委託料)</p> <p>3. 交流・関係・定住人口の拡大による地域活性化</p> <p>★津山シティプロモーション戦略事業 7,718千円 (委託料・使用料・負担金・旅費)</p> <p>★『春はつやま』誘客促進事業 17,500千円 (委託料・負担金)</p> <p>など</p>		 <p>桜のシーズンの津山城(鶴山公園)</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①県外から津山市への過去5年平均の移住者数 (+86人/年)</p> <p>②中心市街地エリアの1日の歩行者・自転車の通行量 (+975人)</p> <p>③年間観光客入込数 (+750千人)</p> <p>④市内中心部コミュニティバス1日・1便あたりの平均乗客数 (+2.11人/日・便)</p>	関連URL	令和7年度公表予定

事業概要【歴史と文化の薫る城下町で特別な宿泊体験ができる小規模分散型ホテル「津山城・城下町泊プロジェクト」】

旧制度（拠点）

申請者	岡山県津山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	766,760千円（178,417千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>津山市は、史跡津山城跡や衆楽園、2つの重要伝統的建造物群保存地区などにおいて、歴史的な文化財や古民家が多く現存する「歴史と文化の薫る城下町」です。これらは観光資源として活用することで、観光客には特別な体験を提供することができますが、この潜在的なポテンシャルが十分に活かされていません。文化財や古民家を用いて津山市観光のブランディングを図ることで、観光産業の底上げによる地域経済の活性化を目的とします。</p>		
<p>整備内容・利活用方策</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>本事業は、「津山城・城下町泊」と題し、津山市内に点在する文化財を連携させ、1つのホテルに見立てて活用する「小規模分散型ホテル」の整備です。本事業では第1期工事として、津山城の鶴山館、衆楽園の余芳閣および迎賓館、城東地区の旧梶村邸を宿泊施設ならびにレストランとして活用します。</p> <p>【令和7年度分事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 <ul style="list-style-type: none"> 【建築物本体工事】建築物本体設計委託料・本体工事費 111,483千円 【建築物と不可分な設備工事】設備設計委託料・設備工事費 58,794千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 <ul style="list-style-type: none"> 【解体・外構工事】部分解体、外構工事、展示施設整備 8,140千円 		 <p>津山城と城下町</p>  <p>迎賓館レストランイメージ</p>  <p>客室イメージ</p>  <p>旧梶村邸の庭園の眺め</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+1,750円） ②津山城に入園するインバウンド数（+1,750人） ③観光入込客数（+1,600千人） ④観光センター売上高（+2,500千円） <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>令和7年度作成予定</p>

事業概要【官民協創で築く健康で持続可能なまち推進事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県津山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	45,400千円 (20,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	健康に関心の薄い人を含め、住民が無理なく健康づくりの実践ができる「自然に健康に向かうことができる仕組み」を、行政だけでなく、地域の人々、民間企業や教育機関なども含めた市全体の協働と連携で、構築、普及することにより、地域の人々が健やかに心豊かに生活できる活力あるまちを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○健康管理アプリを活用した健康ポイント事業 健康管理アプリ利用料 16,000千円 プロモーション経費 1,000千円</p> <p>○健康管理アプリ普及のためのスマホ教室の実施 スマートフォン教室委託料 2,772千円 広告折り込み委託料等 428千円</p>		 <p>楽しみながら、健康に。</p> <p>kencom</p> <p>エンゲージメントサイエンス</p> <p>イベント、健康診断、ポイント、健康記事、エンタメ、データ記録</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の人口・世帯数 毎月流動人口が将来展望人口を上回る人数 (+127人)</p> <p>②医療費抑制効果 (+1,893千円)</p> <p>③健康管理アプリ利用者数 (+9,620人)</p> <p>④健康ポイント事業に参加する施設や店舗の数 (+104件)</p>		<p>関連URL</p> <p>令和7年度公表予定</p>

事業概要【生産者×地域商社×事業者を繋ぐデジタル農業複合経営モデル構築事業】

申請者	岡山県津山市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	120,139千円 (44,943千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的(効果)	津山圏域(津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町及び美咲町)全体・農業関連産業全体の事業者を地域商社がハブとなって密に繋げる「生産者×地域商社×事業者を繋ぐデジタル複合経営モデル」を構築することで、「農業経営の収益性の低さ」などの諸課題に正面からアプローチし、圏域において農産物の生産・加工・流通・販売・消費それぞれの段階の関係者全体として相互利益をもたらす循環経済を実現します。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○特産物・アイデア発掘事業 3,950千円 ・地域産品開発に必要なモノ・コト・ヒト・情報収集機能の構築 ○産地育成・営農サポート事業 4,737千円 ・地域産品のブラッシュアップ、労働力派遣・農業DXの推進 ○商品開発ブランディング事業 13,436千円 ・農業関連産業等と連携しデジタルを活用したオープンな加工 ○オンライン・オフライン両輪の販路開拓・拡大事業 8,278千円 ・EC等を活用したマーケティングと自社直販の連動した販路開拓 ○魅力プロモーション戦略事業 14,142千円 ・消費者との相互発信や共感を生む固定客の獲得・拡大 					
地域の多様な 主体の参画	<p>地域商社は津山圏域の関係者が参画するプラットフォームを構築し、生産者(生産者団体)、事業者、消費者(地域商社のSNSフォロワー等)、教育機関等が連携して行う農産物の生産・新商品開発・販路開拓等の取組をサポートするとともに、それぞれの者が有するモノ・コト・ヒト・情報をすくい上げ、農産物や商品の付加価値向上や課題解決に向けた取組を促進する。</p> <p>また、金融機関、県、津山圏域の自治体等は、地域商社の運営面や事業に活用可能な施策等の助言を行い、事業内容の構築・改善を行う。</p>				<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①津山圏域の農業産出額 (+4,3億円) ②地域商社の売上高 (+2億円) ③地域商社のプラットフォームの会員数 (+500人) ④農業DX導入実証農業経営体数 (+80経営体) ⑤地域商社の取扱商品種別 (+75個) ⑥地域商社の累計SNSフォロワー数 (+1,754人)

事業概要【楽しく・安心できる暮らしGlocal City Tsuyama構築事業】

申請者	岡山県津山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	172,947千円 (42,412千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を生む好循環をGlocalな考え方を基礎に進めていく。</p> <p>①働き方改革 (テレワーク) により、新たな雇用を創出する。</p> <p>②コミュニティ活動を活性化させ、地域経済循環の仕組みを構築し、担い手不足の解消を図る。</p> <p>③産官金が連携した窓口を設置し、創業や就職、住まいの相談などをワンストップで行う。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>①生産人口の拡大 13,800千円</p> <p>②IT人材サプライチェーンの確立による生産人口の確保 9,763千円</p> <p>③ローカルコミュニティ活性化 18,400千円</p> <p>④地域や学校に愛着と誇りをもつ子どもたちの育成 449千円</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>					<p>産 官 金</p> <p>ワンストップ 創業・移住支援</p> <p>テレワーク 人材育成・教育者育成</p> <p>担い手作り ローカルコミュニティの活性化</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>マッチングサイトの運営について、大学、高専、高校等と連携し、求職者の視点に立った意見・助言を募り利用促進に繋げる。</p> <p>また、信用金庫の主導によるワンストップ窓口を設置し、商工会議所、商工会による創業支援、専門家の派遣、創業後のフォローアップが行える環境を整備することで、新しい雇用の創出、創業を誘発させ、生産人口の拡大に繋げる。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①移住者数 (+225人)</p> <p>②テレワーク施設の利用人数 (+6,072人)</p> <p>③新規学卒者の地域内就職者数 (+2,130人)</p> <p>④創業支援件数 (+285件)</p>

事業概要【若者の地元定着推進事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県玉野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	34,149千円（13,033千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少問題について、若者の市内定着のための施策を推進し、子育て世帯の定住促進を図る ・地元企業の情報発信力を強化し、認知度の向上を図る ・デジタル技術を活用した省人化・効率化の推進により安定した経営基盤を確立することで、地元企業の魅力の向上を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○新たなキャリア教育システムの構築・運用 ・新聞、ポスター、動画作成等に係る経費（消耗品費）1,050千円 ・リーフレット作成費用（印刷製本費）150千円 ○電子版たまもの企業ガイドの更新 ・電子版作成に係る経費（委託料）100千円 ○地元企業の経営基盤を強化させるステップアップ支援 ・ステップアップ補助（補助金）6,013千円 ・副業人材活用推進事業委託料（委託料）5,720千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①市内高等学校卒業者のうち市内就職率（+14.0%） ②本事業により構築した新たなキャリア教育の仕組みによる活動を実施した学校の割合（+100.0%） ③本事業を通してステップアップに取り組んだ企業数（+60社） 		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.tamano.lg.jp/so-shiki/1/40245.html （効果検証） https://www.city.tamano.lg.jp/so-shiki/1/46275.html

事業概要【IT企業等誘致推進事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県玉野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	50,139千円（11,450千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の市外流出を抑制するため、市内就職の選択肢となるIT企業等の誘致を図る ・IT企業で即戦力として働ける人材の育成を図る ・移住希望者やIT企業等に対して、住環境を含めた市の魅力を効果的にPRし、移住施策の強化を図る 		
事業概要・ 主な経費	<p>○ワーケーションの発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市圏のIT企業等へのプロモーション（委託料）2,992千円 ・民間事業者によるワーケーションツアー実施に対する補助（補助金）2,000千円 ・ワークブースの設置（敷地借上料）6千円、（サービス利用料）340千円 <p>○デジタル人材育成セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開催（委託料）2,021千円 <p>○移住ポータルサイトを活用したPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住プロモーション（PR委託料）3,793千円（印刷製本費）298千円 		
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①ワーケーションツアー参加企業数（+24件） ②デジタル人材育成セミナー受講者数（+50人） ③IJUコンシェルジュを通じて移住した組数（+30組） ④ポータルサイトのページビュー数（+63,600PV） 		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>https://www.city.tamano.lg.jp/so-shiki/1/40245.html（効果検証）</p> <p>https://www.city.tamano.lg.jp/so-shiki/1/46275.html</p>
※経費内訳はR7年度事業費			
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【広域連携拠点施設（熱利用施設）整備事業】

旧制度（拠点）

申請者	岡山県笠岡市ほか4自治体	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,637,549千円 (1,317,651千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	本施設において3市2町が人口減少や高齢化率の高まりによって抱える4つの課題（健康寿命の延伸、新たなコミュニティの形成、交流人口の拡大、学校施設の老朽化と水泳授業における課題）を解決し、地域の魅力を高める。自治体の枠を越えた新たなコミュニティの形成や住民間の交流を活発化することで地方創生として目指す「生涯活躍のまち」を実現し、圏域への人の流れを創出する。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>本施設は隣接地に建設中の新ごみ焼却施設から発生する熱を供給し、温水プールや温浴施設等の熱源として利用する。圏域内企業の健康経営のサポートを行うほか、子ども達が天候に関わらず運動できる場を提供する。</p> <p>【建築物本体外工事】建築工事費 606,278千円 【建築物と不可分な設備工事】電気設備工事費 172,639千円、空調換気設備工事費 163,853千円、給排水衛生設備工事費 210,066千円、エレベーター設備工事 7,480千円、その他設備工事 15,230千円 【工事監理費】工事監理委託料 22,941千円 【効果促進事業（ハード事業）】熱利用設備工事 114,763千円、外構工事 4,404千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①3市2町のUIターン者数（+114人） ②3市2町における健活宣言企業数（+29社） ③圏域内観光拠点の入込客数（+12万1,000人） ④本施設の年間利用者数（+11万4,100人）		関連URL （交付金の具体的用途・実施体制） https://www.city.kasaoka.okayama.jp/soshiki/13/63677.html （効果検証） https://www.city.kasaoka.okayama.jp/life/4/25/

事業概要【未来を担うひとづくり推進事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県井原市	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	59,866千円 (9,466千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的（効果）	若者を中心とした幅広い世代の市民が、地域の魅力拡大や課題解決に積極的に参画する場を設定することで、『まちづくり』と『ひとづくり』を自分事としてとらえて積極的に関わろうとする意識と実践力を醸成し、ふるさと井原を自らの活躍の場として選び、よりよい未来を自らの手で創り出そうとする高い志と熱い想いをもった〈井原“志”民〉の育成と〈志縁コミュニティ〉の形成を図る。			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業(委託料12,200千円) <ul style="list-style-type: none"> ・ひとづくりのまち「井原」の発信（井原“志”民塾・公開講座、まち&ひとづくりフェスタ、ひとづくり懇談会の開催など） ・社会に開かれた教育課程の実現（研修会やワーク&ライフ体験活動の実施） ・地域社会・企業との連携（地場産業魅力発信プログラムの開発・導入など） ・高等学校や大学との連携、家庭教育の支援、読書活動の推進 ○いばら就職支援事業(委託料2,000千円) <ul style="list-style-type: none"> ・高校生向けのインターンシップや合同企業説明会の開催 		 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①社会増減数（+10人） ②井原市や住んでいる地域のことが好きな生徒児童の割合（+6.0%） ③日々の生活に幸せを感じている生徒児童の割合（+5.0%） ④いばら就職支援事業（合同企業説明会）における市内3高校の在籍生徒数に対する参加申込生徒数の割合（+5.0%） 		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://hitozukuri-no-machi-ibara.jp/ （効果検証） https://www.city.ibara.okayama.jp/soshiki/3/1726.html	

事業概要【ふるさと井原の未来を創る観光物産振興事業】

申請者	岡山県井原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	63,400千円 (7,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・観光地域づくりの舵取り役となる新たな法人組織を設立し、その組織の主導により、地域全体への新たなヒトとカネの流れを生み出し、市民や市内事業者の収入の増加や雇用の創出など地域経済の好循環を作り出すことで、「住んでよかった、住み続けたい、住んでみたい 魅力あふれる 元気なまち いばら」の実現を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 本市の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となる法人組織設立に向けた支援を行うとともに、観光振興及び物産振興の両面での外貨の獲得や経済循環率向上に向けて、地域産品の商品開発・販路開拓の支援、インバウンドを含めた誘客拡大等に取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】 (仮称) いばらDMOの設立を支援する。 ・法人組織設立支援(委託料) 7,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>県内の大学や市内の小中高等学校との共同により体験コンテンツ開発等に取り組むとともに、市内の観光団体や産業関係団体、交通事業者、宿泊事業者との連携により、着地型旅行商品の造成や受入環境整備の推進、商品開発や販路開拓の支援を行う。</p> <p>また、井原放送との連携により事業の積極的な情報発信を行うとともに、井原市まちづくり協議会と連携し、地区住民の声やニーズを吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①新たな法人組織(DMO) 造成したインバウンド向け着地型旅行商品の売上高(+1,000万円) ②観光入込客数(+16万人) ③星の郷観光案内所の売上高(+107万2千円) ④地域産品の商品開発件数(+9件) ⑤WEBサイトに訪れたユーザー数(+14万1千人)</p>

事業概要【高梁市観光好循環創造事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県高梁市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	69,965千円（28,617千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域産業の「稼ぐ力」を最大限に引き出し、地域経済の舵取り役を担う高梁地域DMOの再構築を行う。 市場調査結果等の客観的データに基づいた戦略の策定及び商品の開発・販売を行い、地域産業全体への広汎な波及効果をもたらす、市内経済全般に活力と好循環を創り出す。 市内観光を楽しめるコンテンツを開発し、滞在時間の延長、それに伴う観光消費額の増加と観光事業者の収入増を図る。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○(新)高梁地域DMO設立準備委員会 5,390千円(委託料) ・設立準備委員会の開催、設立に向けた検討、調査の実施 会議運営・情報収集・計画ブラッシュアップ・フィールドワーク ○市場調査及び戦略策定 7,000千円(委託料) ・今後の継続的かつ安定的な事業展開のための継続的な調査を実施し、販売手法や事業収入確保に向けた戦略の策定 マーケットニーズ調査・経済波及効果の可視化・戦略策定 ○ODMOによる地域経済活性化事業 15,000千円(委託料) ・DMOの自立的な組織の運営に向けた観光ブランドの確立と地元経済の活性化を図る。 高度情報発信・人材育成セミナー・体験メニュー、特産品開発・プロモーション活動 ○起業支援事業 1,227千円(委託料) ・若者やUJIターナー向けにセミナーや講習会を開催し定住を図る。 若者向けキャリア支援セミナー・農産物栽培講習会 	  <p>＜イメージ＞ ○設立準備委員会</p>   <p>○体験メニュー 例) 星空観察 体験ツアー</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+13.9億円） ②観光案内所の売上額（+2,500千円） ③農産物販売額（+6.75億円） ④新規事業者数（+25社） 	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） www.city.takahashi.lg.jp （効果検証） www.city.takahashi.lg.jp

事業概要【伝統工芸美術品「備前☆」の継承・活用による地域振興事業】 旧制度（推進）

申請者	岡山県備前市、岡山県瀬戸内市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	567,334千円（150,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸美術品の魅力発信や販路拡大を担う官・産・金・学が連携した地域商社を設立する。 ・新たな需要を掘り起こすため、伝統工芸美術品の海外での巡回展の実施、出展及びテストマーケティングを行う。 ・インバウンドの誘客促進を図るため、海外をはじめ都市部や大阪万博等の機会に合わせたプロモーションを行う。 ・伝統工芸美術品製作技術を活用した新たな商品を開発し、後継者の確保や育成を図る。 		
事業概要・ 主な経費	<p>○地域商社設立運営支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域商社設立に係る当年度の設立に向けた調査研究活動、設立事務、情報発信・販路開拓・販売業務等、運営管理に係る経費（負担金）10,000千円 <p>○巡回展及び普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際見本市出展（フランス、ドイツ等）に係る経費（負担金）20,000千円 ・海外プロモーション（テストマーケティング含む）に係る経費（負担金）45,000千円 ・レストランサンプリングに係る経費（負担金）10,000千円 <p>○国内PR事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪万博を機会としたPRに係る経費（負担金）20,000千円 ・都市部でのプロモーションに係る経費（負担金）6,000千円 <p>○デジタル技術等による普及・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術等導入多言語対応のwebの維持管理に係る経費（負担金）3,500千円 <p>○産学連携商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな商品開発に係る経費（負担金）5,500千円 <p>○伝統工芸美術品生産者支援事業（ハード・ソフト）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者養成事業に係る経費（補助金）8,000千円 ※ソフト事業 ・製作技術向上に係る経費（補助金）12,000千円 ※ソフト事業 ・備前焼窯改築にかかる経費（補助金）10,000千円 ※ハード事業 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①海外に向け伝統工芸美術品に魅力発信・販路拡大に意欲ある事業者数（+50件） ②当事業による伝統工芸美術品の販売額（+40,000千円） ③国内外イベントの参加者数（+23,000人） ④新たに開発した商品数（+4件） 	関連URL	<p>備前市備前焼振興課</p> <p>https://www.city.bizen.okayama.jp/soshiki/105/</p>

※経費内訳はR7年度事業費

TRADITION ET INNOVATION
L'ART MILLÉNAIRE DES
CÉRAMIQUES DE BIZEN 25.05
~17.06

MUSEE MAGNELLE MUSEE DE LA CERAMIQUE
PLACE DE LA LIBERATION
06220 VALLAURE
T: +33 (0)4 75 64 71 81 - WWW.VALLAURE-GOLFEE.FR
OUVERT TOUTS LES JOURS SAUF LE MARDI 10 H - 12 H 15 / 14 H - 17 H



事業概要【備前市美術館別館整備プロジェクト】

申請者	岡山県備前市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,233,000千円 (699,000千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・「備前焼伝統産業会館（JR伊部駅）」を2025年開館予定である備前市美術館の『別館』として改修を行い、JR伊部駅前全体を美術展示エリアと捉え、さらなる文化・芸術の発展に寄与する施設を目指す。また、外国人を含む観光客の受入体制や情報発信体制を充実させ、観光地としてのブラッシュアップを行う。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【拠点整備事業の経費】 ○備前市美術館別館としての改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ●建築物整備 679,170千円 ●設備整備・用地造成等 19,830千円 ●備品整備 0千円（債務負担行為） 					<p>工事完了イメージ図 ※完成R8年度末</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>備前市文化芸術振興財団が指定管理にて運営を行い、備前焼陶友会や各作家、観光協会などとの連携を促進する。 また常設展示以外の企画ブースにて備前焼以外の企画展も企画し、全国から陶芸ファンが訪れる施設として事業運営に取り組む。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値</p>	<p>①観光消費額（+65,000万円） ②当該施設への来場者数（+10,800人） ③展覧会の実施件数（+5件） ④プラチナマップ利用者数（+5,500人）</p>

申請者	岡山県瀬戸内市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	725,007千円（576,021千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	市中心部に地域の人材や資源が集い、交流する産業振興拠点施設を整備し、日常的に地域産業と関わりをもつ「場所」と「機会」を提供することで、地域を支える事業者・就業者の課題解決に取り組み、若者世代をはじめとした次代を担う人材の確保・育成と地域産業の持続的発展を目指す。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	拠点施設において、商工会等の支援機関と連携した事業者・就業者に寄り添った支援、全天候対応型イベントスペースやコワーキングスペースとシェアオフィスの機能をあわせ持った多様な働き方を実現する空間を整備することで、事業者同士の交流によるオープンイノベーションの活性化やIoTやAI等のデジタル技術を活用できる人材の地域への定着を促し、地域全体の労働生産性の向上を図る。 また、市のこれまでの取り組みによって地域内に誘致した先端技術を有する企業と連携し、デジタル技術を活用した課題解決セミナー等を開催することで、デジタルソリューションの普及推進及び地域産業におけるDX化を促進する。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 258,725千円 【建築物と不可分な設備工事】 空調設備工事 394千円、電気設備工事費 53,950千円、機械設備工事費 63,184千円 【その他】諸経費 150,125千円 工事監理 14,401千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 【外構等整備】 外構整備工事、太陽光発電設備 14,000千円 【デジタル設備】 Wi-Fi設備、デジタルサイネージ導入 10,520千円 【その他】諸経費 9,783千円、工事監理 939千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+185人） ②施設利用者数（+42,000人） ③地域における新規創業者数（+10人） ④若者世代の社会増減数（+90人）	関連URL	（実施体制） https://www.city.setouchi.lg.jp/soshiki/22/139400.html （効果検証） 調整中

事業概要【次世代型中山間地域創造プロジェクト】

申請者	岡山県真庭市				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	370,328千円 (119,738千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンテック・ブロックチェーン技術を活用したデジタル地域通貨を導入し、SDGsの理念を踏まえた地域づくりを推進する。 ・スマート農林業技術により基幹産業・農林業の生産性向上を図る。 ・バイオ液肥・かきがらとスマート農業を組み合わせ、脱化学肥料化による海ごみ対策の推進を図り、効率的でエシカルな農業スタイルを確立する。 ・膨大な行政データ、スマート農林業等IoT機器等から取得されるデータ、デジタル地域通貨から取得される市民の消費動向・ライフログ等データ、民間事業者などから収集される外部データ等を一元的に収集・管理し、官民ともに活用してイノベーションを起こしやすい環境整備を行う。 						
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<ol style="list-style-type: none"> デジタル地域通貨による市内キャッシュレス化推進、SDGsによる地域・経済圏づくり <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル地域通貨スーパーアプリ基盤へのAIコンシェルジュ機能導入 委託料30,766千円 ・デジタル地域通貨スーパーアプリ基盤への共助促進・社会応援基盤機能の実装 委託料19,800千円 ・デジタル地域通貨活用対象サービス、利用者・流通量拡大を目的とするフィンテック機能の拡充 委託料24,200千円 ・利用促進ポイント付与とキャンペーン費用 委託料0千円 <ul style="list-style-type: none"> ※別財源にて委託料1,100千円の費用を賄う。 ※キャンペーン実施にあたってのPR等付帯業務の委託に係る経費 ・利用促進イベント開催費用 委託料0千円 ・新機能を含む利活用の促進・新規利用獲得を図るための高齢者向けスマホ教室等支援事業を実施する。 ※別財源にて委託料1,163千円の費用を賄う。 ・デジタル地域通貨基盤サービス利用料 使用料30,490千円 ・デジタル地域通貨利活用促進に向けたスーパーアプリ・データ連携基盤・デジタルID・AI基盤運用費用 使用料・委託料5,778千円 スマート農林業推進による次世代中山間運営 <ol style="list-style-type: none"> (1)スマート林業(0千円) (2)スマート農業(7,252千円) <ol style="list-style-type: none"> ①真庭市スマート農業技術導入による持続可能な農業推進事業 補助金5,800千円 ②スマート農業による新しい生産方式と循環型農業のビジネスモデル創出事業 委託料1,452千円 行政DX基盤による市内ビッグデータの蓄積・官民利活用推進によるイノベーション促進 <ol style="list-style-type: none"> (1)行政DX基盤(1,452千円) <ul style="list-style-type: none"> ・行政情報データベースシステムの運用(クラウドサービス)使用料0千円 ・官民データ活用促進ワークショップ開催・サポートセンター運営 委託料1,452千円 						
地域の多様な主体の参画	<p>商工会、金融機関、行政等が『電子地域通貨による持続可能な地域づくり推進協議会』を組織し、デジタル通貨を活用した地域づくりを推進する。</p> <p>集落営農法人、行政等、官民が連携しスマート農業を推進する。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①デジタル地域通貨の利用者数 (+ 24,5千人) ②スマート農業に取組む農業従事者数 (+ 27人) ③官民データ連携事例数 (+ 11件) ④個人認証済利用者数 (+ 5千人) ⑤連携サービス数 (+ 38件) 	

事業概要【真庭の多彩な人材が交流し経済循環を生み出す共創拠点整備事業】

申請者	岡山県真庭市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,116,770千円 (285,794千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	✓	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<p>・真庭市では、人口減少、少子高齢化等の課題に対応するため、豊かな住まい方や質の高い住民サービスが求められています。公共施設の再編やデジタル化による行政サービスの利便性の向上を図るとともに、市町村合併により形成されている現在の都市機能を見直し、若年層を中心に人口を増加させ活力あるまちとするため、公民連携により地域共創拠点を軸に持続可能な農業振興や産業振興、及びデジタル共創拠点の構築に取り組む。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】 ○地域共創拠点構築 ・産官学金言士連携会議の設置（委託料）12,001千円 ○デジタル共創拠点の創出 ・準備会事務局運営委託（委託料）6,000千円 / ・センター構想策定支援業務（委託料）20,000千円 / ・地域d Xアドバイザーの招聘（委託料）10,000千円 / ・都市OSの利活用推進に向けた調査研究業務（委託料）10,000千円 / ・防災テックによる安心安全のまちづくり実証・構築（委託料）15,313千円 / ・若者、女性等の担い手の土壌育成（委託料）44,766千円 / ・デジタルデバイド対策事業（委託料）4,000千円 / ・共創プログラム創出（委託料）17,573千円 ○持続可能な産業振興 ・農作業受委託等のサービス実装経費（委託料）6,235千円 / 販路拡大に向けたシステム構築やプロモーション経費（委託料）：9,139千円 / 新規就農促進に向けた仕組み構築経費委託料6,239千円 / 地域内外の者の交流の場構築経費 委託料995千円/ 真庭市独自の循環型農業のPR手法やtoC向けの販売システムの構築・更改に向けた調査・検討（委託料）6,790千円 / 企業に対して就業環境の改善を周知・啓発（委託料）4,000千円 / 事業系生ごみの分別収集実証事業（委託料）15,499千円 / 企業団体マッチング（委託料）19,030千円 / 海外留学生受け入れ体験（使用料）398千円 / 市内企業魅力発信事業3,366千円 【施設整備・事業設備・備品経費】 ・防災テックによる安心安全のまちづくり実証・構築 4,450千円 【インフラ整備事業経費】 ○地域共創拠点整備に伴い必要な市道整備 ・事業費 70,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>産業界や大学の参画により、地域共創拠点や農業サービス事業体の立ち上げや運営体制の強化を行う。真庭いきいきテレビが市民への情報提供を担い、地域全体での協力体制を整え、持続可能な地域づくりを推進する。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①社会減の減少（+220人） ②地域共創拠点に参画する企業団体数（+13団体） ③新規就職者数（+75人） ④新規女性雇用者数（+50人） ⑤農業支援サービス事業体利用件数（+180件） ⑥計画交通量（+2,800台）</p>

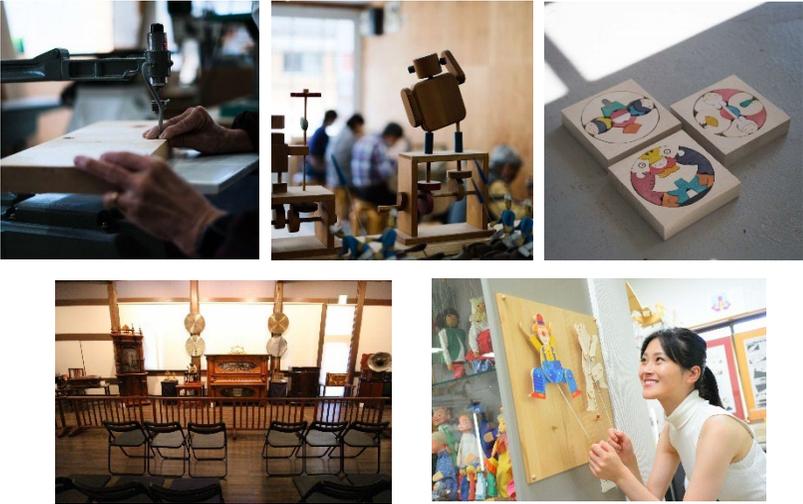
事業概要【観光地域づくりから定住人口につながるプロジェクト】

申請者	岡山県真庭市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	235,585千円 (79,967千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランドコンセプトの磨き上げやターゲット設定、滞在交流プログラムの造成、人材育成、受入体制の整備を行い、持続可能な観光地域づくりを推進します。広域連携や海外プロモーション、教育旅行誘致を通じて新規顧客を獲得し、地域の魅力を発信します。 ・観光により得た関係人口を交流人口の創出と住みやすい地域づくりにつなげるため、移住者拡大や短期居住体験、こども園での独自体験、交流ツアーの実施などを行い、地域の活性化を図ります。 ・廃屋化を未然に防ぎ、安全安心な住環境の確保と空き家の活用促進による定住人口による持続可能な地域づくりを実現します。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○持続可能な観光地域づくり事業</p> <p>・観光戦略改訂支援事業【3,700千円】①観光戦略改訂支援業務：基礎調査、現状分析・課題整理（委託料）720千円/ワークショップ開催（委託料）1,500千円/次年度に向けた進行方針報告書（委託料）280千円 ②市民意識調査事業：企画・調査分析・レポート（負担金）1,200千円</p> <p>・プロモーション事業【7,300千円】①広域連携事業：倉吉市連携事業（負担金）500千円/新見市・高梁市連携事業（負担金）1,000千円/津山市連携事業（負担金）1,000千円 ②海外プロモーション事業：真庭観光局WEBページ（海外版）ページ制作・更新/SNS報発信伴走支援事業（委託料）3,000千円 ③教育旅行誘致推進事業：教育旅行誘致推進事業（負担金）1,800千円</p> <p>・観光人材創出支援事業【4,858千円】①観光人材創出支援事業：観光人材創出支援事業（委託料）4,858千円</p> <p>○交流人口創出</p> <p>・大学生向け真庭ライフスタイル紹介HP整備（委託料）1,000千円/短期居住体験等のサイト情報収集・発信・保守経費等（委託料）7,146千円/こどもたちへのシビックプライドの醸成（委託料）2,013千円/真庭再発見魅力体験ツアー（委託料）9,400千円/まにわくらし体験兼人材育成塾運営経費（負担金）7,000千円/里山留学運営経費（負担金）9,950千円/地域づくり市民活動応援経費（補助金）150千円*40団体</p> <p>【施設整備・事業設備・備品経費】</p> <p>○持続可能な観光地域づくり事業</p> <p>・観光看板リニューアル事業（委託料）3,000千円</p> <p>○交流人口創出</p> <p>・地域内遊休拠点施設の改修経費（補助金）1,000千円*2件</p>					<p>《真庭市における地域課題》</p>	
地域の多様な 主体の参画	観光事業の中核である観光局と協働で事業を進める。関係人口創出や空き家の提供のため、自治会・地域支援団体、不動産事業者と連携して取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①観光入込客数（+6千人） ②旅行消費額（+2千円） ③宿泊者数（外国人宿泊者数）（+612人） ④来訪者満足度（+3%） ⑤地域認定空き家契約件数（+4件） ⑥社会増減（+120人）

事業概要【みまさか観光局を核とした観光振興体制確立・戦略的誘客促進事業】

申請者	岡山県美作市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	141,510千円 (43,270千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・（一社）みまさか観光局を核として美作市の観光認知度を高め、訪れた人が満足度の高い滞在時間を過ごすことで美作のファンとなり、再来訪したくなる観光地となることを目指す。 ・旅行会社の伴走支援を受けながら組織体制の基礎を確立することで、盤石な受入体制を構築する。 ・地域の観光資源を磨き上げて高付加価値化を進め、地域の観光関係事業者と連携を図りながら観光素材を旅行商品として造成、マーケティング調査に基づいた精度の高いプロモーションを実施することで、多くの観光客が訪れる観光地となることを目指す。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○組織体制の基盤整備と受入体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社伴走支援（補助金） 3,300千円 ・ライドシェア導入事業（補助金） 700千円 ・人材育成事業（補助金） 200千円 <p>○観光DXの基盤となる情報発信体制の構築と広報戦略の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイト開設（補助金） 2,700千円 ・広報戦略策定支援（補助金） 2,200千円 <p>○京阪神・台湾をメインターゲットに据えた戦略的誘客促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報素材とセールス資材制作（補助金） 4,400千円 ・現地（台湾・京阪神）でのイベント出展（補助金） 800千円 <p>○パブリシティ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション・ロケツアーリズム推進（補助金） 4,250千円 <p>○旅行商品造成・高付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツ造成・高付加価値化（補助金） 7,700千円 <p>○地域観光団体・観光事業者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域観光団体連携事業（補助金） 14,020千円 ・観光事業者連携事業（補助金） 3,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	湯郷温泉への誘客促進の主体となってきた湯郷温泉旅館協同組合の人脈及びノウハウを生かし、連携して事業を実施していく。実績値等の提供を受けることで事業効果を検証、ブラッシュアップに繋げていく。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+43億円） ②観光入込客数（+297千人） ③京阪神からの宿泊客数（+55,000人泊） ④台湾からの宿泊客数（+1,100人泊）

事業概要【現代玩具博物館・オルゴール夢館工作室増築・体験コンテンツ充実事業】

申請者	岡山県美作市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	25,800千円 (2,000千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 湯郷温泉街の主要な観光施設である現代玩具博物館・オルゴール夢館の工作室（体験施設）を本館隣に増築し、利便性を向上させることで施設の機能強化を図る。 体験施設の整備と体験コンテンツの充実による滞在時間の延長とリピーターの獲得を目指す。 来訪の目的となり得る着地型コンテンツとして、湯郷温泉街への誘客促進と観光消費額の増加に繋げる。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>R7年度 【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 工作室増築 ・ 工事設計委託（委託料） 2,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>湯郷温泉旅館協同組合と連携し、宿泊客への施設紹介や体験付き宿泊プランの造成を行う。斡旋時の客の意見やプラン販売における改善点等を指摘し、事業効果の検証、ブラッシュアップに繋げていく。</p> <p>着地型コンテンツを新たに開発するにあたっては、地元の小学生にモニターとして意見を求めるほか、小学生目線でのコンテンツの改善点やアイデアを出してもらう。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域における観光消費額 (+13.3億円) ② 現代玩具博物館入館者 (+3,301人) ③ 湯郷温泉宿泊客数 (+28,617人泊)

事業概要【産業振興施設整備事業】

申請者	岡山県和気町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	491,786千円 (47,786千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>・日用品販売店や飲食店をテナント貸できる複合施設の整備、本町の中心地である和気駅周辺への町営バスの玄関口となる計画地にバスターミナルや休憩所を設置することにより地域住民の日常生活の利便性を向上させる。</p> <p>・地域資源を活かした観光拠点施設として、観光情報をはじめ様々な情報を発信するとともに、地域の憩いの場、交流の場として新たな賑わいを創出する。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 国道沿いに、日用品販売店、町営バス停留所、観光情報発信施設（サイクルステーション）、飲食店等へのテナントスペースを整備する。 当該施設の整備により、人口減少、買物空白地、交通弱者、観光振興、地域間交流といった地域課題の解決に向け、総合的に取り組む。 また、SNS等を活用し、日用品販売店や飲食店の情報発信を行うとともに、キャッシュレスの無人型店舗の出店についても検討し、中山間地域で持続可能な施設運営を図る。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ・実施設計委託料 47,786千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>地元管理会及び地域住民は、施設管理（清掃）や直売所へ農産物等の出店を行う。 地元の高校・大学は、イベントへの参画や直売所への出店、若者の視点からの施設運営への提言を行う。 施設の指定管理者は、施設の管理運営だけでなく、地域住民の日常生活の利便性の向上、新たな賑わいの創出、住民同士の触れ合いにつながる取組を行う。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①佐伯地域の世帯数 … (-121世帯) ②来場者数 … (+98,000人) ③売上金 … (+5,000万円) ④イベント開催数 … (+5回)</p>

事業概要【次世代型賑わい創出基盤づくり地域創造事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県矢掛町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	515,637千円（108,250千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	自然環境を活かした観光コンテンツを作り、そして道の駅を含めた3つの観光コンテンツ（道の駅、歴史文化資源、自然資源）間を1つのエリアとして、周遊できる環境構築を目指しつつ、歴史文化資源・自然資源を最大限に生かして、地域が活性化される好循環を作り出す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 道の駅と一体的なオートキャンプ場等を整備し、アプリによる周遊観光の仕掛けづくりにより関係人口を増加させ、賑わいを創出する。</p> <p>【主な経費】 アプリを活用した周遊観光の仕掛けづくり・賑わいづくりの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術による矢掛ファン獲得の仕組みづくり 27,500千円 可能性調査・計画策定・商品開発・人材育成などの取り組み ・アウトドア人材育成、プロモーション 4,500千円 道の駅周辺一体化新賑わい施設基盤整備 ・オートキャンプ場の整備 76,250千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①町内年間観光入込客数（+13.5万人） ②町内年間宿泊客数（+3,850人） ③アプリの利用者数（+1,550人） 		<p>関連URL</p> <p>令和7年10月公表予定</p>

事業概要【矢掛町イタリア野菜産地化プロジェクト】

申請者	岡山県矢掛町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	50,700千円 (16,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>・矢掛町産イタリア野菜の生産体制の強化や販路開拓により、矢掛町がイタリア野菜の産地としてのブランドを確立することで、生産者の生産意欲や所得の向上に寄与し、新たな担い手の確保につなげる。また、矢掛町産の農作物のブランド化を図ることで、農業振興という新しい側面から本町のイメージアップにつなげ、町全体の地域活性化を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 イタリア野菜の産地化のため、担い手の確保、栽培技術の強化及び栽培品目の選定、販路開拓、ブランディング及びマーケティングの向上を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定かつ持続的な生産体制の確立 栽培講習会の開催、産地ツアーの開催（負担金） 1,000千円 農家への資材補助（補助金） 1,500千円 ・矢掛町産イタリア野菜のブランド確立 P R資材の作成（負担金） 10,000千円 イベントの実施（負担金） 1,500千円 ・安定した販路の確保 市場調査及びイベント出店（負担金） 2,000千円 市場出荷専用箱の試作（負担金） 500千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>JA晴れの国岡山矢掛アグリセンターと矢掛町が共同で事業を実施し、イタリア野菜の産地化を目指す。 町内の小・中・高校には野菜の提供を通じて、イタリア野菜のP Rを行うとともに、農業の魅力を幅広く伝える。また、ケーブルテレビ局と連携し、町民に取組の周知を行い、町民全体の機運を醸成する。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①新規イタリア野菜（リゾット米含む）の販売金額（+3,000千円） ②イタリア野菜の累計栽培農家数（+15戸） ③SNS（インスタグラム、フェイスブック、その他新規ツール）のフォロワー数（+600人） ④提供飲食店舗数（+10軒）</p>

事業概要【持続可能な森づくりを目指す造林事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県新庄村	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	59,400千円（19,800千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	若い世代や移住・定住を希望する者が、村内で安定して働ける場を見つけることが困難な状況を改善するため、本村では「安定した雇用を創出して、安心して働けるようにする」ことを総合戦略の目標の1つに掲げ、基幹産業の1つである林業の価値向上を図ることで、村内で働ける場の創出を行い、人口減少への歯止めをかけることを目指している。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業経営に係るコンサルティング 村内の林業事業者における造林部門の経営について、コンサルティング企業による支援を委託 13,200千円 ■ 関係者間の調整 本事業に関わる村内関係者やコンサルティング企業との橋渡しを村内の事情に精通する社団法人に委託 6,600千円 ■ 作業人材の確保 地域おこし協力隊制度を活用し、本事業で立ち上げる造林部門において、作業員として従事する人材の確保 0千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①新規林業従事者数（+4人） ②造林部門における売上額（+36,000千円） ③作業面積（+6ha） 		<p>関連URL</p> <p>http://www.vill.shinjo.okayama.jp/index.php?id=140</p>

事業概要【健康の町「かがみの」アウトドアから広がる地域の賑わいプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	岡山県鏡野町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	177,230千円 (41,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>トレッキングやサイクリング、カヌー体験、サップ体験などのアウトドアアクティビティがアフターコロナにより、人気が高まり新たな需要が生まれてきているため、従来の観光施設等にも人の流れを波及させ、経済活性化を図る。「健康」をキーワードにした取り組みにより新たなエコツーリズムを生み、アクティビティや自然、文化体験等を複合的に楽しめるアドベンチャーツーリズムを通じて、オンリーワンの体験ができる独自の高い滞在型観光を推進する。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 観光総合システムを核とした効果的な情報発信・プロモーションを更に進めていくため、健康のまち鏡野町のアドベンチャーツーリズムの実現に向けたインバウンド対策として、外国語に対応したウェブサイトの構築や滞在型コンテンツを提供する。また、アウトドア企業と連携したPRイベントを実施し、アウトドアから広がる地域の賑わいを構築する。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地域づくり法人（DMO）運営（負担金）28,000千円 ・モバイルファーストな観光総合システム運営・構築（委託料）7,150千円 ・アドベンチャーツーリズム企画・販売（委託料）5,500千円 ・デジタルサイネージの設置・運営（委託料）1,050千円 		
KPI	<p>①アウトドアアクティビティ等自然体験受入人数（+8,000人） ②アウトドアアクティビティ等自然体験受入による経済効果（+80,000千円） ③かがみの里山健康クラブ会員（+7,800人） ④観光公式ホームページアクセス数（+45,000件）</p>		<p>（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.town.kagamino.lg.jp/soshiki/2/1985.html</p>
<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>関連URL</p>		

事業概要【若者支援は社会支援 若者と地域が信頼関係でつながる居場所づくり事業】

申請者	岡山県勝央町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	174,858千円 (171,604千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • 空き園舎を地域の子育て支援専用の施設として改修し、子育て支援をより柔軟に、一体的に行うことで、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって持続可能なまちを維持していく。 • 整備する施設を、若者と地域が信頼関係でつながる居場所とすることで、引きこもりや若年無業者（ニート）の予防や対策を強化し、「生涯のコストギャップ（経済的損失）」を最小限に抑える社会投資を目指す。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○こども検討委員会実施事業 ・こども検討委員会ファシリテーター業務委託料（業務委託費）360千円 ○施設開設に関する事業 ・パンフレット等印刷費（印刷製本費）300千円 ・センター消耗品費（消耗品費）600千円 ・備品経費（備品購入費）4,170千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旧園舎を子育て支援専用施設に改修 ※千円未満切り捨て ・建築工事費 75,000千円 ・建築物と不可分な設備工事 58,198千円 ・消費税相当額 13,319千円 ○駐車場整備 ・駐車場整備工事 19,657千円 				<p>愛をはぐくむ こども未来センター（仮称）のイメージ</p>	
地域の多様な 主体の参画	地域のまちづくり団体やNPO法人と共同して人材育成を目的とした事業を展開する。				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①子育て世代（20～49歳）の人口減少数（▲10人） ②年少人口（0～15歳）の転出者数（▲25人） ③「勝央こどもワイガヤ会議（こども検討委員会）」発案のイベント・事業の開催数（+18回） ④勝央町子ども・若者サポートネットの「就労に繋がった延べ人数」（+5人） ⑤小中学校の不登校者数（▲5人） ⑥センター利用者満足度（5段階評価の平均値）（+4.5ポイント）

【SDGs × 奈義町版全世代全員活躍のまち = 持続可能な永続できるまち事業】

申請者	岡山県奈義町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	532,135千円 (71,635千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>奈義町で生まれ、学び、暮らすことは町民の誇りであり、まちの魅力を自覚し、主体的に奈義町で暮らしている。そして町外からは、奈義町に憧れを抱いている。そのような奈義町に、生きがいを持ちながら暮らす一人ひとりの町民、緩やかな関係を持つ内外の人々、自然景観、面となって互いに関連しあう施策、それらの総体としての「奈義町」が、誰もが豊かに暮らすことができる「全世代全員活躍のまち」のひとつのモデルになることを目指す。</p>		
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○合計特殊出生率2.95 日本一結婚・出産・子育てのしやすいまちづくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 奈義町版ネウボラ×DX推進事業委託費 3,900千円 ・ 子育て家庭デジタル化システム構築事業 11,000千円 ・ 奈義町まるごとデジタル化パイロット事業委託費 8,000千円 ・ 本物の豊かさを見極めることのできる人材育成委託及びデジタル技術活用調査研究委託費 4,735千円 ・ アーティストinレジデンスによる聖地化プロジェクト推進事業委託費 5,100千円 ・ 町内外へのバランスの取れた戦略的プロモーション事業委託費 8,100千円 ○まちで活躍する人づくりと人材供給事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ しごとコンビニ営業力拡充事業委託費 3,000千円 ・ 農業コンビニDX加速化事業委託費 10,000千円 ・ 人材育成研修自立自走化事業委託費 3,000千円 ・ 育成人材によるパイロットチャレンジ事業交付金 1,100千円 ・ 大学生関係人口構築事業委託費 1,300千円 ○多世代交流の場と役割と心身健康づくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者活躍多職種連合_全町展開普及促進事業委託費 5,300千円 ・ ナギト制度ビックデータAI活用・研究委託費 5,600千円 ○住みたい・帰ってきたい暮らしと住まいの整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空家ワンストップ化体制構築強化事業委託費 1,500千円 	<p style="text-align: center;">様々な施策により多方面から町民の生涯活躍を叶える</p> <p style="text-align: center;">町民が暮らし易く、永続できるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な人材 <ul style="list-style-type: none"> ■ CIR ■ 国際交流フェスティバル ■ イングリッシュキャンプ ■ フランス料理教室 ■ 地域活性化企業人 奈義町現代美術館 <ul style="list-style-type: none"> ■ 文化・芸術の拠点 ■ 文化資本 ■ 世界初第3世代型美術館 ■ 企画展・商業展 ■ 森の芸術祭 ■ インスタ映え 子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ■ 子育て支援センター ■ 子育て支援センター ■ 子育て支援センター ■ 子育て支援センター ■ 子育て支援センター 高齢者支援 <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域サロン ■ ちよいつはいはんプロジェクト ■ 地域包括支援センター ■ ウォーキングクラブ ■ いきいき百歳体健 ■ 生活支援サポートセンター ■ さと丸デマンドバス ■ 介護職 しごととえん <ul style="list-style-type: none"> ■ しごとコンビニ ■ 農業コンビニ ■ まるごとデジタル ■ せとむら ■ 社労士 ナギト <ul style="list-style-type: none"> ■ 普及率100% ■ 電子地域通貨 ■ ボランティアポイント ■ 緑のポイント ■ マネジメント ■ 協賛店 ファミリーホーム <ul style="list-style-type: none"> ■ 一時預かり ■ 自主保育 ■ 3世代交流 ■ おうち教室 ■ 自主で多様な活動 子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ■ 高等学校等就学支援 ■ 食文化活用 ■ 高校生まで医療費無料 ■ 保育料多子軽減 ■ 奨学育英金 ■ その他多数 <p style="text-align: center;">生涯活躍のまち事業</p> <p style="text-align: center;">文化・芸術 国際交流・ダイバーシティ DX・エンパワーメント 子育て・教育</p> <p style="text-align: center;">地域コミュニティ・住民主体性</p>	
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①合計特殊出生率 (+13.8ポイント) ②新規創業者数と事業承継者数 (+18人) ③人口維持 (5,787人) 	<p>関連URL</p>	<p>(交付金の具体的使途・実施体制) 検討中 (効果検証)</p> <p>https://www.town.nagi.okayama.jp/gyousei/chousei/gyouzaisei/tihousei/r3suisinn.html</p>

事業概要【「まちへのひとの流れをつくる」移住促進事業】

申請者	岡山県奈義町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	712,200千円 (238,400千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	人口を維持するうえで、子育て世帯や若者をターゲットにした戦略的な移住施策がために不可欠であり、地域住民組織と協働し体制を整えるとともに、移住支援拠点を整備し、特に都市部の若い子育て世帯をターゲットとした戦略的なPRを展開する。また移住先の検討の中で障壁となっている、公共交通や医療体制の利便性を向上させるため、A I 等を活用したDX化を推進する。					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○移住支援拠点整備・空家活用促進事業（委託費、工事請負費等）：201,900千円 <ul style="list-style-type: none"> ・移住支援体制整備 ・移住プロモーション ・移住者が集えるコミュニティ活動推進 ・住まい情報の可視化、空家アドバイザー事業 ○移住者の生活環境改善事業（委託費等）：15,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通のリ・デザイン ○ODXを活用した地域医療体制強化事業（委託費等）：8,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・A I 導入による医療等支援体制構築 ○移住者を受け入れるモデル地区の推進事業（委託費等）：3,500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自治機能強化によるモデル地区整備 ○奈義町移住サテライトベースを整備（委託費等）：10,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計 					
地域の多様な 主体の参画	<p>地域再生推進法人である奈義しごとえんは移住施策における移住拠点や移住ツアーの運営を行う。また地域の自治会では移住者の受け入れ環境の整備を行い、事業実施状況についての現場や地域の意見の吸い上げを行う。</p> <p>併せて、明治大学等が行っている奈義町の合計特殊出生率の研究結果をエビデンスとする。</p> <p>上記により現場と学術研究の両面から事業内容への反映を行う</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①転入者（+30人） ②移住ツアーを経て移住につながった人数（+22人） ③合計特殊出生率（+0.42） ④空家バンク登録物件数（+40件） ⑤町民まんどく量（+2.6）

事業概要【「ローカルからグローバルへ-国際芸術祭と連携した地域固有の文化・芸術高付加価値化事業-】

申請者	岡山県奈義町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,294,864千円 (131,792千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	地域固有の文化資本が観光資源として集積・高付加価値化され、観光消費の増加、UIターンの促進、シビックプライドの形成、多様性への理解など多面的な効果を発揮し、その好循環により「若者・女性にも選ばれる地方」の町として、町の持続的な発展を実現する。					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光資源としての文化資本整備事業：（委託費等）18,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ ナギノート効果最大化事業 ・ 文化アドバイザー招聘事業 ・ 奈義町現代美術館関連施設整備事業 ・ 伝統芸能拠点施設整備事業 ○既存観光資源の磨き上げ事業：（委託費等）42,229千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利活用計画に沿った奈義町現代美術館の活用事業 ・ 奈義町現代美術館アーカイブ事業 ・ 奈義町現代美術館保存・利活用計画策定事業 ・ 文化アドバイザー招聘事業 ・ 住民とアドバイザー共同イベント実施事業 ○地域文化を中心としたインバウンド対応・観光人材育成事業：（委託費等）2,100千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様性と固有性を育む事業 ・ 多言語観光ガイド育成事業 ○国際芸術祭と連携した観光産業創出事業：（委託費等）39,463千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光DMOインバウンド・観光受け入れ体制強化事業 ・ 国際芸術祭イベント事業 ・ 観光プロモーション事業 ○アートの森整備事業：（委託費等）30,000千円 アートディレクション委託料 					
地域の多様な 主体の参画	<p>観光DMOを主体として観光受け入れ態勢の強化を行い、インバウンド対応についてはALT、CIRと連携した人材育成を行う。 横仙歌舞伎保存会や映画ナギノート実行制作チームと連携して、コンテンツの強化及び広報戦略について連携を図る。 地元事業者などの意見の吸い上げはDMOが、コンテンツの強化状況や磨き上げの方向性については横仙歌舞伎保存会や映画ナギノート実行制作チームからの現場の意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①観光消費額（+1億5千万円） ②奈義町現代美術館の年間来場者数（+1万5千人） ③横仙歌舞伎・歌舞伎音座の担い手数（+9人） ④転出者数の減少（-50人）</p>

事業概要【MOUNTAIN TRACK OGAYA(マウンテントラック おおがや)】

申請者	岡山県西栗倉村				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	978,034千円 (249,905千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ビジョン「百年の森林構想」に則った来村目的となる観光エリア拠点として老朽化・降雪不足により閉鎖した旧スキー場およびキャンプ場施設を再整備し、観光交流人口、観光消費を増加させ、地域の観光産業の活性化を図る。 ・リピートでの来訪やローカルベンチャーの交流による観光交流人口からの関係人口化を促進させる。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に係る詳細設計を実施し、設計完了後一部施設について整備着手する。 ・施設運営にかかるアプリケーション開発を実施する。 <p>【実施設計】 79,900千円 【設計施工監理】 3,971千円 【建築物本体工事】 25,812千円 【建築物と不可分な設備工事】17,814千円 【駐車場造成工事】 44,374千円 【デジタルプラットフォーム開発】 78,034千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	整備する施設は民間事業者による管理運営を行い、利用者の増加や地域住民の関係性構築につながるイベント等を開催してもらう。 産官学金労言で構成される西栗倉村総合戦略有識者会議にて事業進捗を共有し、複数の視点から運営に向けた助言等、事業のフォローアップを行う。				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①主要観光施設の売上額(+75,700千円/年) ②整備施設の利用者数(+24,800人/年) ③整備施設での事業者連携事業数(+50件/年)

事業概要【美咲町移住・定住受入体制整備事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県美咲町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	31,697千円 (8,650千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・町内全域の空き家に関する情報のデータベース化によるデジタル化への推進を図る。 ・空き家問題全般の総合相談窓口となる中間支援組織の設立により、空き家に関する課題解決を図る。 ・住民向け、移住者向けの統合型デジタルツール開発により、情報発信力の強化と生活の利便性向上を図る。 		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空き家に関する相談対応、所有者に対するアプローチ、専門業者、専門家と連携する中間支援組織運営 <ul style="list-style-type: none"> ・中間支援組織運営業務委託費 6,000千円 ○美咲町アプリ（子育て支援アプリ）による、定住者支援及び移住者向け情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・専用アプリ運用業務委託費 2,650千円 <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>		<p>美咲町空き家総合相談窓口（中間支援組織）イメージ図</p> <p>将来的に移住コデイン制度へ移行を計画</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①空き家等情報バンク成約件数 (+41件) ②危険家屋措置件数 (+10件) ③単独・合同移住相談会開催数 (+34回) ④子育て支援アプリ登録（インストール）者数 (+1,800人) <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.misaki.okayama.jp/</p>

事業概要【デジタルマーケティングを活用した関係人口の創出・深化事業】

旧制度（推進）

申請者	岡山県美咲町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	9,960千円 (3,960千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル媒体での効果的な情報発信を行うため、官民一体となりデジタルマーケティング戦略を構築する。 ・戦略策定後は、既存施策も含め戦略に基づき効果的な情報発信を行い、交流人口、関係人口を創出する。 ・町外在住者へ美咲町の魅力をPRするファンクラブサイトを創設し、情報を集約するとともに統一的に発信する。 ・ファンクラブの運営により、関係人口の深化を促進し、移住希望者の増加、地域課題の解決等を図る。 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 デジタルマーケティング戦略を活用し、関係人口の創出、深化を促進するため、新たに「美咲町ファンクラブ」を創設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存データの分析、マーケティング戦略見直し、ファンクラブサイトの構築支援業務（委託料） 1,500千円 ・ファンクラブサイトの構築（委託料） 1,400千円 ・ファンクラブ運営に係る美咲町公式LINE連携・ファンクラブイベント企画（委託料等） 1,100千円 		<p>・デジタルマーケティング戦略に基づき情報を発信する。 ・ファンクラブサイトを創設し、情報を集約するとともに、統一的に発信する。 ・ファンクラブ会員向けの情報発信は公式LINEを活用する。 ・移住・定住策及びローカルベンチャー事業とも密に連携し、関係人口の深化を図る。（ファンクラブ会員から移住やローカルベンチャーの創業につなげる。）</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数 (+90人) ②公式インスタグラムフォロワー数 (+2,130人) ③ファンクラブ会員数 (+2,500人) ④ファンクラブ開設後のアクセス数 (+5,000回/月) 		関連URL https://www.town.misaki.okayama.jp/